

新型コロナウイルスワクチンの4回目接種後の経過

私は75歳で心房細動の持病を持っているが、新型コロナウイルスワクチンの4回目接種後の経過は、次のようであった。

(ファイザー社製**1回目**の接種時) 接種当日は、接種部位の筋肉痛があり、体温も37.0度(接種後の最高体温)まで上がったが、翌日には、筋肉痛も治まり、熱も下がり平熱(36.2~36.7度前後)となった。

(ファイザー社製**2回目**の接種時) 接種してから数時間経ってから接種部位の筋肉痛がはじまり、倦怠感の症状が起こり、体温も37.2度にまで上がっていた。その時には筋肉痛も、接種部位だけでなく、身体の両側の大腿部、上腕部、肩の筋肉にまで広がった。体温の方も、37.8度(接種後の最高体温)まで上がった、頭痛も生じた。接種部位周辺が痛くてそちらを横にして寝ることはできなかった。私は熟睡できるタイプの人間ではないが、ワクチン接種による倦怠感からか、すぐに熟睡状態で眠ることができた。しかし、翌日の起床後の体温は37.8度のままで下がらなかった。しかしまた、不思議なことであるが、熱はあっても身体の痛みはなくなっていた。ただ、発熱と倦怠感は続いていたので、朝食をとった後、氷枕をして眠ったが、よく眠れた。昼食をとった後も、氷枕をして眠ったが、またよく眠れた。そのためか、夕食前に体温を測ったら、37.4度にまで下がっていた。ただ就寝前も体温は37.4度と変わらなかった。しかし、翌々日の朝には、普段の体調に戻っていた。

(モデルナ社製**3回目**の接種時) 当日の夜に接種部位の痛みが生じ、熱は37.3度まで上がった。翌日の朝も37.3度あった。そして、体温が徐々に上がりはじめ、37.9度(接種後の最高体温)まで上がってからは急激に下がりはじめ、37.6度、37.3度と下がって行った。翌々日の朝には熱は36.8度と平熱の状態に戻り、接種部位の痛みもなくなった。3回目の時は、発熱が主たる副反応だった。

(モデルナ社製**4回目**の接種時) 今月の8日に接種した。接種部位の痛みはあったが、発熱はなかった。しかし、9日の朝に熱を測ったら37.5度になっていた。また、接種部位と肩の痛みは増して、頭痛と倦怠感も生じた。昼頃には体温が37.7度(接種後の最高体温)まで上がった。夕食時も37.7度のままだったが、寝る頃には37.0度まで下がっていた。10日の朝には36.6度と平熱に戻った。頭痛も倦怠感もなくなった。

この新型コロナウイルスワクチンは、厚生労働省のリーフレットに記載されているように、接種日には接種部位の痛みが生じ、その「接種直後よりも翌日に」痛みが増し、最高体温まで熱が上がり、頭痛がし、倦怠感が生じ、翌々日には普段の体調に戻るといえるように言うことができる。

これらは、あくまで私の新型コロナウイルスワクチン接種時の体験談である。このワクチンを接種しても感染の可能性はあるかもしれないが、このワクチンが重症化リスクを軽減させるとするならば、私はこのワクチンを接種した方がよいと考える。

